

取扱説明書及び部品表

Takakita

ミニローバレー

日農工特4Pオートヒッチ用部品

RB-511DX用

RB-511-AB



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。

お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお持ちのスマートフォンや
タブレットから右記 QR コードを読み込んで
アクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、**ミニロールペーラ用 日農工特4 Pオートヒッチ(A形・B形)用部品**の取扱方法と使用上の注意項目について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書とミニロールペーラ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも**必ず製品に近接して保存**してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『取扱説明書及び部品表』を製品に添付して、お渡してください。
- この取扱説明書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

！ 警 告 サ イ ン

！ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

！ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

！ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

！ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

オプションヒッチの組付け

RB-511-AB

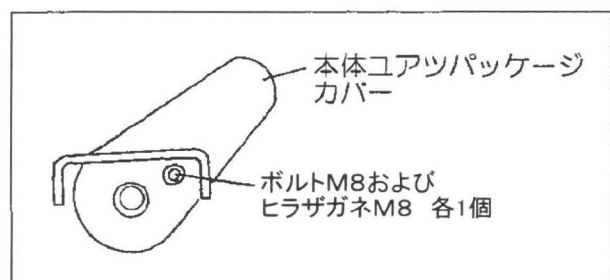
日農工特4Pオートヒッチ用部品

日農工規格特殊4PオートヒッチA形またはB形をお持ちのお客様は、下記のオプション部品を組付けていただくと、オートヒッチでの着脱作業ができます。

◆組付手順

梱包開梱時に、パーツリスト(最終ページ)の部品が全点そろっていることを確認してください。

- 本体ユアツパッケージカバーには⑫ジクカバーを組付けますので、あらかじめ下記のボルトM8およびヒラザガネM8を外しておいてください。



- ①ロワーリンクピンA(または②ロワーリンクピンB)を③ボルトM24、④バネザガネM24、⑤ナットM24で本体フレーム側ブラケットの内側に締付け、固定してください。

注意

特殊4PオートヒッチがA-I形またはA-II形の場合は、①ロワーリンクピンAをお使いください。

また、B形の場合は②ロワーリンクピンBをお使いください。

- ⑥接続カラーのスプライン側を本体側のスプライン入力軸に⑦ボルトM10、⑧ナットM10(ロックナットとして使用してください)で締付け、固定してください。

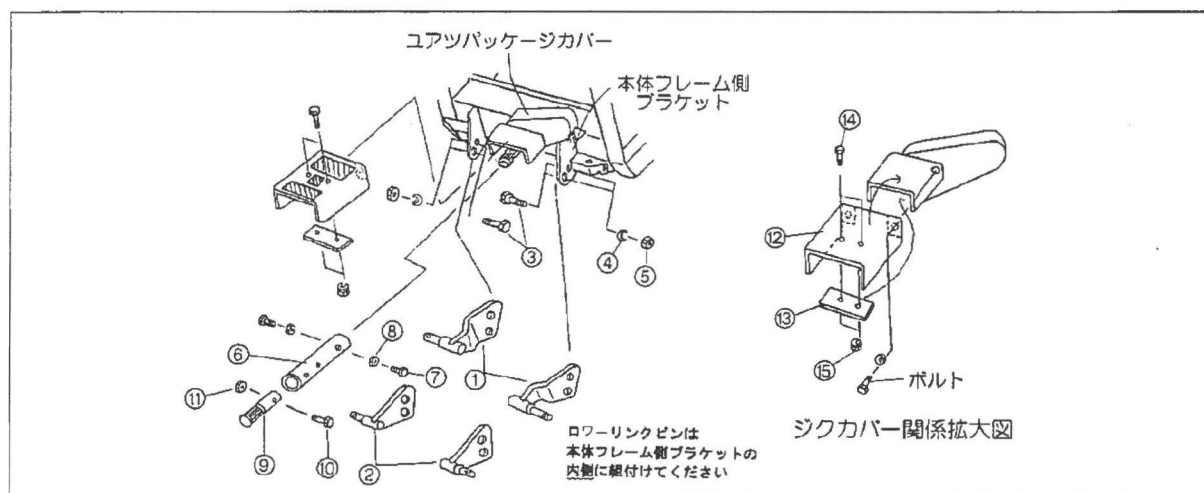
注意

⑦ボルトM10を締付ける際は、⑦ボルトM10の先端が本体側スプライン入力軸のくぼみに入る様に⑥接続カラーの位置を調整してください。

- ⑨スプライン入力軸を⑥接続カラーに⑩ボルトM8、⑪ナイロンナットM8で締付け、固定してください。

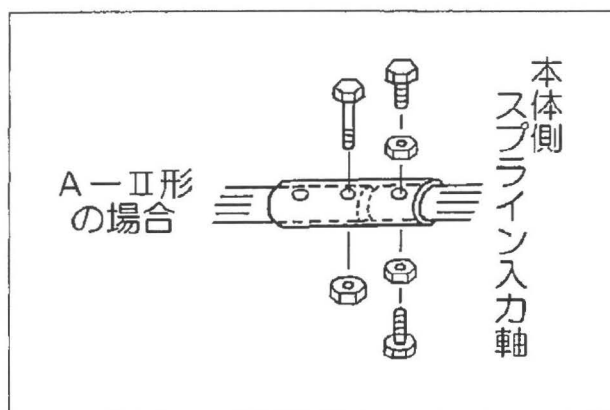
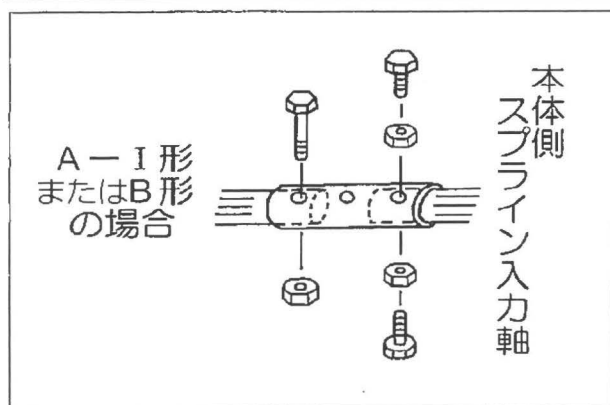
注意

⑥接続カラーへの⑨スプライン入力軸の固定位置は、特殊4PオートヒッチがA-I形またはB形の場合は前方のボルト穴に、同様にA-II形の場合は後方のボルト穴にボルトを挿入して、固定してください。(次ページ参照)



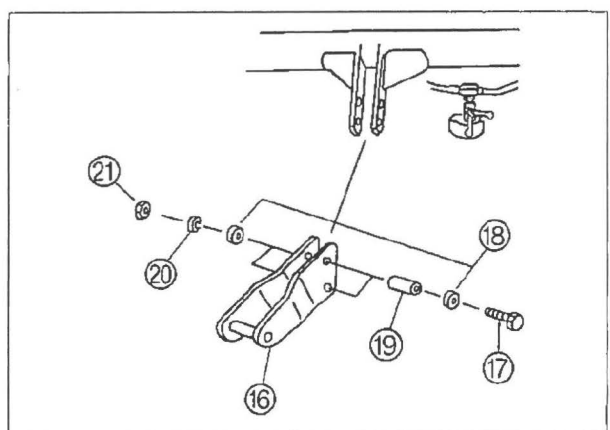
オプションヒッチの組付け

RB-511-AB

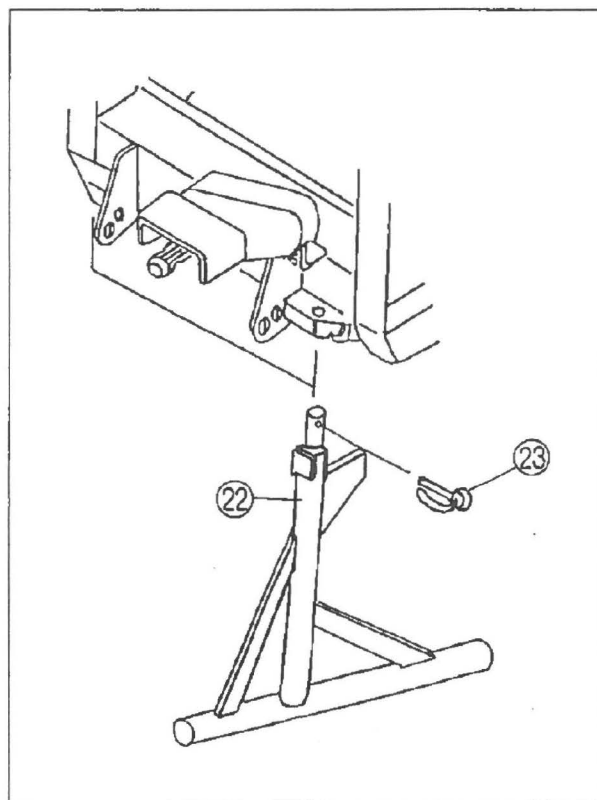


- ⑫ジクカバーをあらかじめ外しておいたボルトM8およびヒラザガネM8で本体ユアツパッケージカバーに締付け、固定してください。さらに、⑬カバーオサエ、⑭ボルトM8、⑮スプリングナットM8を用いてユアツパッケージカバーをはさみ込んでください。

- ⑯トップリンクブラケットを⑰ボルトM14、⑱ヒラザガネM14、⑲カラー、⑳バネザガネM14㉑ナットM14で締付け、固定してください。



- ⑳特4スタンドを本体フレームに挿入し、㉑リンチピンで組付けてください。



！ 注意

- 使用前に各部の組付けに誤りがないか確認してください。
- ボルト、ナット類が確実に工具で締め付けられているか、必ず確認してください。

オプションヒッチの組付け

R B - 5 1 1 - A B

- ◆トラクタとの装着方法についてはローラベアラ本体の取扱説明書をご覧ください。

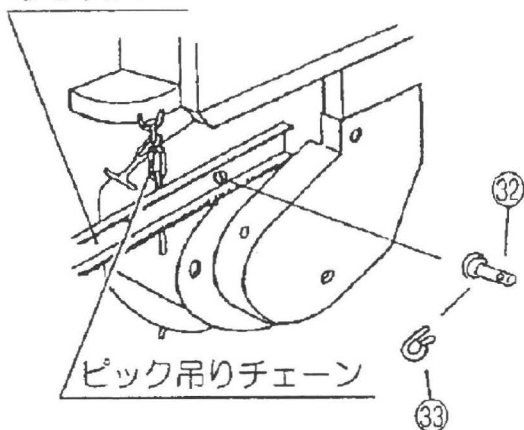
注意

- 本機の装着後、トラクタのロワーリンクをゆっくり上げ、作業機の最大持ち上げ位置で各部が干渉しないことを確認してください。干渉する場合は、トラクタの3点リンケージの上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。
- ◆トラクタに応じて、ピックアップドラムの高さをピック吊りチェーンにより調整してください。その際は、図のように③②リベットピンと③③アールピンでピックアップドラムとプレスバーをつなぎ、プレスバーを持ち上げると比較的楽にピックアップドラムが持ち上がります。

注意

ピックアップドラムを上げるときは、左右のピック吊りチェーンで左右とも同じ高さになるように、吊り上げてください。

プレスバー



(図は左側を示しています)

警告

ピック吊りチェーンで高さ調整するときは平坦な所で本機を地面に降ろし、PTOを止め、エンジンを停止してから行ってください。

- ◆ドッキングが上手くできない場合は、⑩トップリンクブラケットと①ロワーリンクピンA (または②B)の取付ボルトを緩め、オートヒッチフレームに合わせた後、再度締付けてください。

注意

- 移動時は、スタンドを取外してください。
そのまま移動すると、スタンドが障害物に当たり、破損する恐れがあります。
- スタンドを装着した状態で、本機を急激に下降させないでください。スタンドが破損する恐れがあります。